

水源林保全を進めるために

日時 平成26年 **5月24日** 土
13:00~16:15 (12:30開場)

場所 **野洲文化小劇場**

参加費無料
定員：**150**名
(事前申込者優先)

滋賀の森林は、琵琶湖の水を育み、わたしたちの暮らしに多くの恵みをもたらす大切な存在です。

滋賀県では、そのような森林を健全な姿で未来に引き継ぐために、各種施策に取り組んでいますが、他道県での目的不明な土地取得や深刻化する鳥獣害等、新たな課題も生じてきています。

本フォーラムでは、琵琶湖の水源である森林の重要性についてあらためて考える機会とするほか、新たな課題に対応するための琵琶湖森林づくり条例改正の検討状況を報告します。

(公財) 滋賀県緑化推進会写真コンクール表彰・展示

基調講演

【企業による水源林保全の取組
~水を守りに、森へ~】

山田 健氏

(サントリーホールディングス(株)
エコ戦略部 チーフスペシャリスト)

琵琶湖森林づくり条例改正の検討状況報告

パネルディスカッション

テーマ：水源林保全を進めるために

パネリスト：栗山 浩一氏
八代田 千鶴氏
高橋 市衛氏
山田 健氏



講師紹介

山田 健(やまだ・たけし)氏



《経歴》

1955年 生まれ。
1978年 東京大学文学部卒業、同年、現サントリーホールディングス(株)に入社。
2000年に「全国の工場で汲み上げている地下水以上の水を森で育む」ことを目標に「天然水の森」プロジェクトを企画立案。
現在、同社エコ戦略部チーフスペシャリスト兼水科学研究所主席研究員として「天然水の森」を舞台とした研究・整備活動を統括している。
日本ペンクラブ会員、九州大学客員教授、日本鳥類保護連盟理事

《著書》

- 『水を守りに、森へー地下水の持続可能性を求めてー』(筑摩選書)
- 環境小説『ゴチソウ山』『遺言状のオイシイ罌』(角川春樹事務所)など多数

パネリスト紹介

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| 栗山 浩一(くりやま・こういち)氏 | 京都大学教授、滋賀県森林審議会会長 |
| 八代田 千鶴(やよた・ちづる)氏 | (独)森林総合研究所関西支所主任研究員 |
| 高橋 市衛(たかはし・いちえい)氏 | 長浜市伊香森林組合参事、樹木医 |
| 山田 健(やまだ・たけし)氏 | サントリーホールディングス(株)エコ戦略部チーフスペシャリスト |

会場へのアクセス

野洲文化小劇場(野洲市小篠原 2142 番地)
■JR 琵琶湖線 野洲駅下車 徒歩5分

申し込み

下記の参加申込票にご記入の上、森林政策課あて FAX いただくか、同様の項目を e-mail でお送りください。(記載いただいた個人情報は、このフォーラムの運営のみに利用します。)

滋賀県 森林政策課 あて

「琵琶湖森林づくり県民フォーラム」参加申込票	
ふりがな お名前	所属またはお住まい
ご連絡先(電話番号)	e-mail(お持ちの方のみ)